

したいと思っていた時に、上西所長より新舞子観光駐車場料金徴収の仕事があるがやってみないかと電話を受け、即答で引き受けました。

シルバー会員の仲間は5名で、綾部山梅林・潮干狩り・海水浴のシーズン中は週約2回交代制の仕事ですが、駐車券とお金の交換は、ドライバーと話などして注意がそれると1日千台超の車が入場する日もあり、1日の集計が合わない時があります。

10 年来の夢

太子支部 大西 信司

私がシルバーでお世話になって約10年が経ちます。当初2年間は太子町社協デイサービス送迎車の運転手として、その後は現在の職場、太子町総合公園で受付業務や陸上競技場内の草刈りをしています。若い中学生と接する機会があり、成長する中学生の陸上競技選手を見ている

ここで川柳「スタイル似 一葉英世 我泣かし」金勘定の難しさを味わい、女房が集金の仕事を永年勤めあげたのを、今頃になって尊敬の念を持ちます。また一句「丸四角 並べて今日もご明算」。

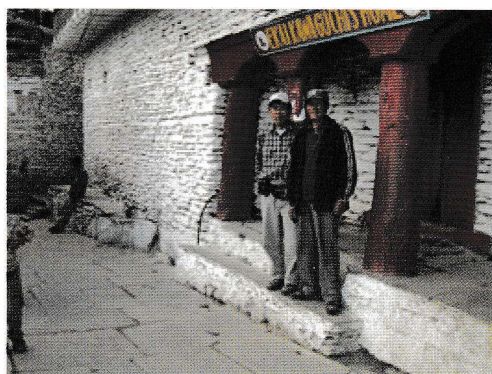
これからも、駐車場の仲間・関係者と楽しく仕事をして、シルバー人材センターにお世話になりたいと思っています。宜しくお願いします。



事は大きな楽しみです。

私は定年退職後2年余り、新潟のNPO団体に属しネパールの奥地ジヨムソンでボランティア活動をしていました。任地から5kmほど南下した地にマルファ村があり、ここに河口慧海記念館があります。約120年前日本人として初めてチベットへ入国した黄檗宗の僧、河口慧海がチベット入国前この家で3か月間滞在し、毎日仏間で一切経経を読みました、その功徳に恩義を感じ、子孫が代々保存している

家です。私が初めてこの家を訪問し仏間へ案内された時、大変大きな感動を受けました。私が2年余りこの地に滞在していた当時、多くの日本人トレッカーがこの家を訪問していました、河口慧海の事を知る人は殆どいませんでした。この様なことから帰国以来何とか彼の地に慧海師の業績を記したプレートを建立したいと考えていました。昨年4月に河口慧海の研究で第一人者の高山龍三先生と知遇を得ました。早速先生に私の想いを述べ、文章を書いて頂くことの快諾を得て、私の夢が実現への道を歩み始めました。今年の



1月にマルファ村を訪れ、記念館の主人に設置場所や大きさの承諾を得て、カトマンズの知人のネパール人に石工屋を紹介してもらい、日本語、英語、ネパール語の説明文を右に彫ってもらう事を約束しました。3月に3か国語の最終文を渡しましたが、本当に複雑な日本語を間違わずに彫ってくれるのか心配でした。予定より少し遅れた5月に、完成したとのメールと共に正しく彫られた日本語の石盤の写真を見て大変感激しました。11月には現地へ行き除幕式が出来る事を楽しみにしています。何歳になっても夢を持ち続ける事は大切な事だと思っています。